

道へき・複連



発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟
<http://dohekifuku.zenhekiren.net/>

委員長 古田 統
 編集責任者 佐藤 正由
 印刷所 山東印刷株式会社
 夕張郡栗山町中央2丁目245 TEL 0123-72-1151
 題字 書家 濱谷 彩鶴 (はまや さいかく) 氏

「へき地・複式校にこそこれからの教育の展望がある」 第10次長期5か年研究推進計画 初年度スタートにあたって

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 古田 統



令和元年度の総会において委員長に選出されました後志管内ニセコ町立近藤小学校の古田統でございます。はじめに、今年度で退任された役員、研究推進委員の皆様へのへき地・複式教育に対する熱意と尽力に深く感謝申し上げます。また、強いリーダーシップで本会を牽引されてきた柿崎委員長の後任として委員長を引き受けることは、本会の歴史と伝統を考えるとその重責に身が引き締まる思いです。

さて、北海道のみならず全国のへき地・複式校を取り巻く現状は過疎化・少子化・学校の統廃合といった厳しさの中にあります。しかし少子化・小規模校化の中ではむしろへき地・複式校にこれからのモデルとなるべき要素が多く含まれていると考えます。新学習指導要領の趣旨「社会に開かれた教育課程」「主体的・対話的で深い学び」などの実現が求められているなか「きめ細やかな少人数指導」「教師と児童生徒との密接な信頼関係」「地域と連携した学校経営」など、へき地・複式校が過去70年にわたって積み重ねてきた手法や理論研究、実践は大きな財産であり、携わるもの

たちの誇りです。外部機関からの期待も高まっている中、今年度から北海道立教育研究所と北海道教育大学の連携による「へき地・小規模校教育研修講座」が開設されることとなりました。また本連盟の柱である研究推進については本年度からの第10次長期5か年計画に則った空知大会、檜山プレ大会を9月に開催します。これらの後押し、取組みを通してへき地・複式教育の有用性の確立、技術の継承、充実・発展に努めてまいりたいと考えます。

「へき地に光を」の時代から「へき地・複式校にこそこれからの教育の展望がある」の言葉が今後ますます重要性をおび、叫ばれるよう新役員一同、本会の役割を果たすべく努力して参りますので、本年度もこれまで同様、会員、関係機関の皆様のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。道へき複・連情報165号発行に当たってのご挨拶といたします。

最後に、前委員長で本年度の監査として就任した柿崎秀顕氏について、全国へき地教育研究連盟会長に再任されることから、全へき連との強固な連携を構築したいと考え、規約第9条に則り本連盟「顧問」として推薦、第1回常任委員会で承認されたことをお知らせします。

令和元年度 定期総会の概要

5月10日(金)、ホテルライフオーツ札幌において、令和元年度北海道へき地・複式教育研究連盟の定期総会を全道14地区から代議員の出席を得て開催しました。

この総会にご来賓として、北海道教育庁学校教育局長 赤間 幸人 様をはじめ、北海道教育大学、北海道小学校長会、北海道中学校長会、道へき複連OB会から5名のご臨席をいただきました。

総会は、石狩・後志地区の青山・山田両代議員を議長に選出し、次第にそって進められました。

また総会に引き続き役員・代議員を対象とした研修会を開催し、北海道立教育研究所 所長 北村喜春 様から「地域とともに生きる」と題してご講演をいただきました。

◇主な総会内容◇

1. 業務報告

- (1) 平成30年度会務報告
 - ①事務局(会務報告、一般経過報告、その他)
 - ②総務部 ③研究部 ④大会部 ⑤財政部
- (2) 平成30年度組織検討委員会報告
- (3) 平成30年度会計決算報告
- (4) 平成30年度会計監査報告

2. 議 事

- (1) 平成30年度各部会務報告承認に関する件
- (2) 平成30年度会計決算報告並びに監査報告承認に関する件
- (3) 令和元年度活動方針並びに各部活動計画について
 - ①事務局 ②総務部 ③研究部
 - ④財政部
- (4) 令和元年度会計予算に関する件
- (5) 第68回全道へき地複式教育研究大会 空知大会について
- (6) 第69回全道へき地複式教育研究大会 檜山プレ大会について

3. 感謝状贈呈

本連盟の活動に貢献されました方々に感謝状が贈呈されました。

大会部長	山本 康博 氏
財政部長	辻崎 洋一 氏
監査委員	吉本 徹 氏
事務局次長	長谷川 孝 氏
研究推進委員	伊端 俊紀 氏
	中山 英明 氏
	青山 司 氏
	増川 佳子 氏
	佐藤 等 氏
	小島 康秀 氏
	古森 康晴 氏
	天野 昌明 氏

令和元年度 活動方針・各部計画

◇◇◇ 基本方針・具体的内容 ◇◇◇

1. 「へき地性」「小規模性」「複式形態」の3特性を生かした教育の充実を図るための研究活動をより一層強力に推進する。

- (1) 第10次長期5か年研究推進計画1年目の研究に取り組む。
- (2) 課題別・共同研究の深化と拡充に努める。
- (3) 第68回全道へき地複式教育研究大会 空知大会の成功に向け取り組む。
- (4) 第69回全道へき地複式教育研究大会 檜山プレ大会の取組を推進する。
- (5) 全道、各地区の研究成果を還流する。

2. 組織の強化と充実に努める。

- (1) 各地区へき・複連との連携、組織の強化を図る。
- (2) 事務局業務の効率化と情報・要請活動の活発化を図るとともに、組織体制の改善について検討する。
- (3) 各部活動の連携を密にして、執行体制の見直しを図り、その強化に努める。
- (4) 未加盟校及び非複式のへき地小規模校の加盟促進を図る。
- (5) 組織検討委員会を継続設置し、組織体制の改善・財政上の諸課題の解決を図る。
- (6) 適切な予算執行に努める。

3. 教育条件の整備と拡充に努める。

- (1) へき地・小規模・複式学級を有する学校の一層の条件整備を進める。
- (2) 教職員の待遇改善を図る運動を進める。
- (3) 新へき地学校等級別指定に関わる 調査・要望活動を進める。
- (4) へき地・小規模・複式学級を有する学校及び地域の課題等の実態把握に努め、その対策について検討を進める。

4. 関係機関・関係団体との連携を一層強化する。

- (1) 北海道教育委員会、北海道立教育研究所、道小、道中、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター、道教育大学各校、全へき連、道へき・複連OB会、道P連等との連携を密にして、研究活動の深化や条件整備、待遇改善に努める。
- (2) 「全国へき地教育研究連盟HP」への寄稿協力および活用の啓発に取り組む。
- (3) 各関係機関、関係団体との成果、資料の交流を図る。

令和元年度 諸会議・事業一覧

月	日	曜	会議・事業等
5	10	金	令和元年度定期総会 第1回組織検討委員会 第1回常任委員会
	11	土	道へき・複連OB会総会
	20・21	月・火	第1回企画委員会 第1回研究推進委員会
	30 31	水 木	全へき連春季総会 全へき連第1回理事会
6	14	金	道へき・複連情報165号発行
	25	火	第2回常任委員会
7	8	月	第2回企画委員会
	8・9	月・火	第2回研究推進委員会
	22・23	月・火	全へき連第2回理事会
	23	火	全へき連第1回図書編纂委員会
8	5	月	第3回常任委員会
			第2回組織検討委員会
9	18	水	第4回常任委員会 第3回企画/研究推進委員会 第1回監査委員会
	19	木	評議委員会
	19・20	木・金	第68回全道へき地複式教育研究大会空知大会
	27	金	第69回全道へき地複式教育研究大会 道へき・複連情報166号発行
10	9	水	全へき連第3回理事会/秋季総会
	10・11	木・金	第68回全へき研長野大会
11	15	金	道へき・複連情報166号発行
	20	水	全へき連ブロック代表者会議 (第4回理事会)
	21・22	木・金	第45回全へき連研究推進協議会
1	22	金	全へき連第2回図書編纂委員会
	27	月	第5回常任委員会 第3回組織検討委員会 全へき連第3回図書編纂委員会
2	12	水	第4回企画委員会
	12・13	水・木	第4回研究推進委員会
	13・14	木・金	全へき連第5回理事会
	14	金	道へき・複連情報167号発行
5	14	木	第6回常任委員会 第2回監査委員会
	15	金	令和2年度定期総会

1. 情報関係活動計画

(1) 方針と重点

道へき・複連の活動状況の周知と会員の意思疎通を図るため、へき地・複式教育の糧となる情報「道へき・複連情報」を発行するとともにホームページの内容充実にも努める。

- ① 執筆者に負担とにならないよう配慮する。
- ② 年3回発行し、連盟の活動と全道の研究の様子が伝わる情報紙になるよう工夫する。
- ③ ホームページの内容充実と有効活用を図る。

(2) 活動計画

- ① 道へき・複連情報165号の発行
 - ・発行日 令和元年6月14日(金)
 - ・内容 令和元年度総会特集、空知大会
道へき・複連情報166号の発行
- ② 道へき・複連情報166号の発行
 - ・発行日 令和元年11月15日(金)
 - ・内容 第68回全道へき地複式教育研究大会空知大会
- ③ 道へき・複連情報167号発行
 - ・発行日 令和2年2月14日(金)
 - ・内容 令和元年度活動報告

2. 全国へき地教育研究連盟関係

(1) 方針と重点

本道のへき地・複式教育は全国のへき地・複式教育の先進地であり、全国の研究を支える気構えで連携を保ち、北海道のへき地・複式教育を全国に発信する。今年度より充実される「全国へき地教育研究連盟HP」の啓発、周知、原稿執筆依頼等の業務を遺漏のないように推進する。

(2) 活動計画

- ① 「全国へき地教育研究連盟HP」の啓発、周知
- ② 「全国へき地教育研究連盟HP」執筆の取組

【原稿種別】

- ・論評(市町村教育長、各局指導主事等)
- ・山紫水明(校長)
- ・やすらぎ保健室(養護教諭)
- ・さわやか事務室から(事務職員)
- ・研究実践校紹介(実践校)
- ・若い先生たちの声(仮称)
- ・学習指導案

総務部

1. 方針

道へき・複連の目的に沿って、各地区へき地・複式教育研究団体の活動を促進し、関係団体との連携を密にする。また、調査活動の充実を図り、道へき・複連の組織強化と適正な運営に努め、本道へき地・複式教育の振興に寄与する。

2. 活動内容

- ①各地区との連携
- ②へき地教育に関する調査
※全へき連基本調査への協力
- ③道へき・複連独自調査の実施
※へき地・小規模・複式校における課題と対策に関わる調査
- ④陳情、要請活動
※全へき連、道教委、道研、地教委等
- ⑤関係機関との連携
※道小指名理事としての活動
- ⑥道へき・複連組織に関わる課題検討
- ⑦その他、各部に属さないこと

3. 具体的活動

- (1) 全へき連関係
 - ①全へき連との連携を密にし、組織強化と研究推進に関して道へき・複連の要望が生かされるように努める。
 - ②へき地・複式教育の条件整備と待遇改善の取組をより強化し、本道の実態に即した振興策に反映するよう努める。
 - ③定数改善（専任教頭及び養護教諭、事務職員の全校配置）に向けて、陳情、要請活動を関係機関・団体に対して強く行う。
 - ④全へき連基本調査への協力
※実態・根拠に基づく条件整備の実現に向けて
- (2) 道へき・複連関係
 - ①組織の活性化、加盟促進を目指し、へき地複式教育や道へき・複連の活動についての情報提供・交流に努める。
 - ②組織検討委員会を設け、道へき・複連の組織上の問題、全へき連負担金納入の適正化等についての検討を行う。
 - ③関係機関・団体との連携・協力を一層強化する。
※道教委、道小、道中、道研、北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター、道P連等
※へき地教育講座（遠隔システム）への積極的参加
 - ④未加盟校のある地区の実態を考慮しながら加盟促進を図る。
 - ⑤地域の課題とその対策等の調査を実施する。
 - ⑥次回のへき地指定級見直しを視野に入れ、道教委の動きを注視し、関係機関・団体との連携を図る。
- (3) その他
 - ①道へき・複連事務局や各地区との連携を図り、事業の推進に努める。
 - ②道小の指名理事として、道小理事研修会に出席し、道小と道へき・複連との連携を図る。

研究部

1. 研究主題

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成」
～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

2. 活動の重点

- (1) 全道へき地複式教育研究大会空知大会現地実行委員会との連携と共同運営
- (2) 全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会への協力と情報提供
- (3) 全国へき地教育研究大会長野大会への協力と情報提供
- (4) 道へき・複連第10次長期5か年研究推進計画1年次としての確かな実践と記録の蓄積収集
- (5) 研究資料・情報等の編集と発行
- (6) 各地区へき・複連及び全国へき地教育研究連盟、教育関係各機関・団体との連携

3. 具体的活動内容

- (1) 全道へき地複式教育研究大会空知大会の開催
 - ①現地実行委員会との緊密な連携協力
 - ②準備、構想等の分担と協力体制の構築
 - ③分散会の企画・運営・実施
 - ④大会の共同運営
- (2) 全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会の開催
 - ①関係機関・団体との連携
 - ②準備、運営等の協力と支援、共同研究者
- (3) 全国へき地教育研究大会長野大会への協力
 - ①関係機関・団体との連携
 - ②準備、運営等の協力と支援、情報提供
- (4) 第10次長期5か年研究推進計画の推進
 - ①共同研究体制の強化と実践研究の充実
 - ②研究推進委員長を中心とする研究組織体制の確立と効果的運営
 - ③各地区教育実践研究資料の蓄積と還流
- (5) 研究資料の編集と発行
 - ①道へき・複連「研究部情報」の発行
 - ②道へき・複連研究主題等の一覧表の作成
 - ③全国へき地教育研究連盟発刊図書への協力
- (6) 教育関係各機関・団体との連携
 - ①各地区へき地・複式教育研究連盟、全国へき地教育研究連盟との連携
 - ②北海道教育委員会、各教育局、教育研究所、北海道教育大学との連携

平成30年度 北海道へき地・複式教育研究連盟一般会計 決算報告

平成31年3月31日現在

【収入の部】

※増減は予算比

項目	平成30年度予算	平成30年度決算	増(△)・減(▲)	備考
会費	3,376,818	3,257,802	▲ 119,016	30年度加盟校240校, 加盟会員1547名
繰越金	337,244	337,244	△ 0	平成29年度繰越金
繰入金	800,000	800,000	△ 0	運営資金会計から
助成金	200,000	230,000	△ 30,000	弘済会より
雑収入	30	37	△ 7	預金利息
合計	4,714,092	4,625,083	▲ 89,009	

【支出の部】

※増減は予算比

項目	平成30年度予算	平成30年度決算	増(△)・減(▲)	備考
1. 研究大会費	910,000	910,000	△ 0	※空知大会・プレ大会
1. 大会運営	500,000	500,000	△ 0	本大会・プレ大会運営費
2. 印刷製本	400,000	400,000	△ 0	研究紀要、研究収録
3. 事務局費	10,000	10,000	△ 0	事務局運営費
2. 研究調査費	1,770,000	1,504,590	▲ 265,410	
1. 旅費	1,750,000	1,484,590	▲ 265,410	企画委員会、研究推進委員会
2. 印刷製本	10,000	10,000	△ 0	用紙代、カセット/CD-R代
3. 通信運搬	10,000	10,000	△ 0	連絡用郵券、送料
3. 研成刊行費	302,000	301,296	▲ 704	
1. 印刷製本	300,000	300,000	△ 0	『情報』誌
2. 通信運搬	2,000	1,296	▲ 704	『情報』誌送料
4. 事務局費	1,732,092	1,212,485	▲ 519,607	
1. 旅費	1,350,000	976,860	▲ 373,140	総会、常任委、組織検討委
2. 消耗品費	10,000	10,000	△ 0	用紙代
3. 通信運搬	30,000	30,000	△ 0	諸会議案内郵券、送料、手数料
4. 借料損料	100,000	75,878	▲ 24,122	諸会議会場借料
5. 会計手当	30,000	30,000	△ 0	会計手当
6. 予備費	212,092	89,747	▲ 122,345	議案製本、感謝状、名刺、等
合計	4,714,092	3,928,371	▲ 785,721	

収入

支出

残金

4,625,083円 - 3,928,371円 = 696,712円

残金については、次年度へ繰り越します。

令和元年度 北海道へき地・複式教育研究連盟一般会計予算案

※増減は前年度予算比

【収入の部】

項目	平成30年度予算	平成30年度決算	令和元年度予算	増(△)・減(▲)	備 考
会 費	3,376,818	3,257,802	3,134,436	▲ 242,382	2019年度加盟校232校, 加盟会員1486名
繰 越 金	337,244	337,244	696,712	△ 359,468	2018年度繰越金
繰 入 金	800,000	800,000	600,000	▲ 200,000	運営資金会計から
助 成 金	200,000	230,000	200,000	△ 0	弘済会助成金
雑 収 入	30	20	30	△ 0	預金利息
合 計	4,714,092	4,625,066	4,631,178	▲ 82,914	

【支出の部】

項目	平成30年度予算	平成30年度決算	令和元年度予算	増(△)・減(▲)	備 考
1. 研究大会費	910,000	910,000	910,000	△ 0	※檜山大会・プレ大会 91万
1. 大会運営	500,000	500,000	500,000	△ 0	本大会・プレ大会運営費
2. 印刷製本	400,000	400,000	400,000	△ 0	研究紀要、研究収録
3. 事務局費	10,000	10,000	10,000	△ 0	事務局運営費
2. 研究調査費	1,770,000	1,504,590	1,520,000	▲ 250,000	
1. 旅 費	1,750,000	1,484,590	1,500,000	▲ 250,000	企画委員会、研究推進委員会等
2. 印刷製本	10,000	10,000	10,000	△ 0	用紙代、カセット/CD-R代
3. 通信運搬	10,000	10,000	10,000	△ 0	連絡用郵券、送料
3. 研成刊行費	302,000	301,296	212,000	▲ 90,000	
1. 印刷製本	300,000	300,000	210,000	▲ 90,000	情報誌印刷送送料
2. 通信運搬	2,000	1,296	2,000	△ 0	振込手数料(3回)
4. 事務局費	1,732,092	1,212,125	1,989,178	△ 257,086	
1. 旅 費	1,350,000	976,860	1,150,000	▲ 200,000	総会、常任委、組織検討委等
2. 消耗品費	10,000	10,000	10,000	△ 0	用紙代等
3. 通信運搬	30,000	30,000	30,000	△ 0	諸会議案内郵券、送料、手数料
4. 借料損料	100,000	75,878	100,000	△ 0	諸会議会場借料
5. 会計手当	30,000	30,000	30,000	△ 0	会計手当
6. 記 念 誌			30,000	△ 30,000	80周年記念誌に向けての積立
7. 予 備 費	212,092	89,387	639,178	△ 427,086	議案製本、感謝状、名刺、等
合 計	4,714,092	3,928,011	4,631,178	▲ 82,914	

総会の様子



北海道教育庁学校教育局長
赤間幸人様の来賓御挨拶



全道各地区からお集まりの
代議員の皆様



北海道へき地・複式教育研究連盟
柿崎秀顕委員長の挨拶



定期総会の様子

役員・代議員研修会概要

総会后、「役員・代議員研修会」が開催されました。北海道立教育研究所長北村善春様より、「地域とともに生きる～北海道へき地・複式教育研究連盟に期待すること～」のご講演をいただきました。概要は次の通りです。

1 へき地・複式学校、小規模校に勤務するとは

- ・ 40年後には1人の生産年齢者が1人の非生産年齢者を支える状況になる日本。
- ・ 2040年には、若年女性が50%以上減少し人口が1万人未満となる市町村が北海道の大部分を占める。
- ・ 平成29年現在、北海道では99名以下の小・中学校がほぼ半数を占める。
- ・ 以上の点から、北海道は広域であるが故に、本道に適した小規模教育が必要である。

2 日本の課題の先取解決

- ・ 小規模中学校では教科1名の配置となる。複数配置の学校とは、異なる研修体制が必要ではないか。このことを踏まえても、小規模校ではICTの活用は避けられない。
- ・ 働き方改革は、勤務実態を正確に捉えて教育の質を高めること、研修する時間を生み出すことが大切である。目的意識の共有とつながりから「新しい価値や仕組み」を創造する営みを生み出す視点が重要である。

3 北海道立教育研究所と北海道教育大学が考えていること

- ・ 教科学習に閉じることなく、社会生活を視野にいった社会的意義を有する学力の形成を重視する。
- ・ 両機関で、①研修を変える（研修講座の協働企画・協働運営）、②授業と学校経営を変える（へき地・小規模教育の実態を踏まえた「授業」「学校経営」の改善方策の協働研究）、③教育の価値を見直し普及する（へき地・小規模教育の有効性を単式・都市部・中規模以上の学校への活用に関する協働研究）という未来教育を創造する研究・研修を推進していく。



北村善春様

第68回 全道へき地複式教育研究大会空知大会

■研究主題 主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成
～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす
学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

■空知大会スローガン

「緑濃き空知の沃野から 次世代を担う子らに 未来を切り拓く たくましい力を」

■大会日程

《1日目》9月19日(木) 全体会場・歓迎会交流会場：ホテルサンプラザ 岩見沢市4条東1丁目6番1号

12:30-13:00	13:00-13:40	13:50-14:15	14:25-16:10	16:30-16:50	18:30-20:00
受付	開会式	基調報告	分散会	閉会式	歓迎交流会

《2日目》9月20日(金) 基本形は下記の通りですが、会場により変更になる場合があります。

8:30-9:00	9:00-9:45	10:00-10:45	11:00-12:00	12:00-13:00	13:00-15:00	15:00-15:30
受付	公開Ⅰ	公開Ⅱ	開会式 研究発表	昼食	研究協議	閉会式

◇会場校及び研究主題等一覧

分科会	会場校名 校長名 電話番号 メールアドレス	研究主題 ～副主題～	分野・課題 教科等
第1分科会	深川市立北新小学校 山田 禎史 0164-23-3480 yamada.tadashi@ed.city.fukagawa.hokkaido.jp	「主体的に学び、 互いに成長しようとする子の育成」	学校・学級経営 1 学習指導 6 国語・算数
第2分科会	深川市立納内小学校 阿部 博昭 0164-24-2602 abe.hiroaki@ed.city.fukagawa.hokkaido.jp	協働的な関係を築き、 集団としての学習力を高めるために ～算数科におけるコミュニケーション能力を 生かした授業の構築～	学校・学級経営 1 学習指導 6 算数
第3分科会	美唄市立峰延小学校 山下 正志 0126-67-2229 bmskocho@educet01.plala.or.jp	自己学習力を身につけ、 学び続ける子どもの育成 ～算数科における効果的な間接指導のあり方～	学校・学級経営 2 学習指導 6 算数
第4分科会	岩見沢市立メープル小学校 加藤 康徳 0126-44-2205 maplesv@mc.city.iwamizawa.hokkaido.jp	自分の考えを表現し、深め合う子どもの育成 ～伝え合い活動の工夫を通して～	学校・学級経営 3 学習指導 5・6 国語
第5分科会	栗山町立継立小学校 近藤 弘隆 0123-76-3151 tugitate1911@yahoo.co.jp	『主体的に話し合い、 互いに高め合う子どもの育成』 ～進んで発表し合い、考えを深めるための 算数科の指導の工夫～	学校・学級経営 3 学習指導 6 算数
第6分科会	長沼町立長沼舞鶴小学校 松縄 義道 0123-84-2001 naganumamaizuru-sho@hokkaido.school.ed.jp	共に学び、互いに高めあえる子どもの育成 ～根拠を明確にし、自らの考えを表現できる 算数科の指導を通して～	学校・学級経営 1 学習指導 6 算数
第7分科会	長沼町立南長沼小学校 北野 和幸 0123-84-2104 minaminaganuma-sho@hokkaido.school.ed.jp	「学び合い考えを深める子どもの育成」 ～主体的で深い学びを実現する 算数科の授業づくり～	学校・学級経営 1 学習指導 6 算数

第69回 全道へき地複式教育研究大会檜山プレ大会

■研究主題 主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった人間性豊かな子どもの育成
 ～児童生徒一人一人が仲間とつながり、地域とともに「生きる力」を伸ばす
 学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

■檜山大会スローガン

「ふるさと檜山の未来を担う子らに 笑顔かがやく豊かな心と時代を生き抜く学びを」

■大会日程

◇ 開催期日 令和元年 9月27日(金) 全3会場

◇ 大会日程 基本形は下記の通りですが、会場により変更になる場合があります。

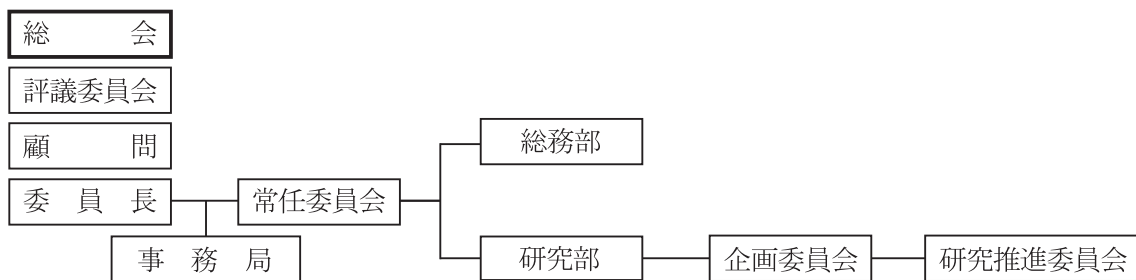


8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	公開 I	公開 II	開会式 研究発表	昼食	研究協議	閉会式	

◇会場校及び研究主題等一覧

会場	会場校名 校長名 電話番号 メールアドレス	研究主題 ～副主題～	分野・課題 教科等
今金	今金町立種川小学校 本庄伯幸 0137-82-0506 tane_sho@hakodate.or.jp	「自分の考えをもち、 主体的・対話的に学ぶ学習指導の工夫」 ～共に学び、高め合える 算数科の授業づくりを通して～	学校・学級経営 3 学習指導 5・6 算数科
乙部	乙部町立栄浜小学校 溝口二三夫 0139-62-2160 sakaesho@educet01.plala.or.jp	「主体的・対話的で深い学び」に 向かう子どもの育成 ～少人数のよさを生かした、算数科の指導の工夫～	学校・学級経営 2 学習指導 4・6 算数科
上ノ国	上ノ国町立河北小学校 晴山泰文 0139-55-2151 kahoku@hotmail.com	「基礎・基本を身に付け、 自ら進んで学習する子どもの育成」 ～算数科授業における個に応じた指導の工夫～	学校・学級経営 2 学習指導 5 算数科

令和元年度 北海道へき地・複式教育研究連盟 組織・役員名簿



役職名	氏名	地区	学校名	電話番号
顧問	柿崎 秀 顕	胆 振	安平町立遠浅小学校	0145-22-2674
委員長	古 田 統	後 志	ニセコ町立近藤小学校	0136-44-2852
副委員長	総務部	加 藤 康 徳	空 知 岩見沢市立メープル小学校	0126-44-2205
	研究部	栗 田 真	胆 振 室蘭市立喜門袋小学校	0143-55-3850
監査委員	小 泉 卓 真	日 高	新ひだか町立静内小学校	0146-42-1561
	柿 崎 秀 顕	胆 振	安平町立遠浅小学校	0145-22-2674
財政部長	田 中 貴 人	石 狩	千歳市立東小学校	0123-21-3200
事務局長	温 泉 敏	上 川	剣淵町立剣淵小学校	0165-34-2116
事務局次長	佐 藤 正 由	十 勝	鹿追町立笹川小学校	0156-66-3505

令和元年度 各地区へき・複連 委員長／事務局長

地区	委員長(会長)		事務局長		
	氏名	学校名	氏名	学校名	電話番号
石狩	青山 司	石狩市立聚富小中学校	生田 康人	江別市立北光小学校	011-383-1031
空知	八柳 圭	長沼町立北長沼小学校	伊藤 潤	岩見沢市立メープル小学校	0126-44-2205
後志	山田 正	積丹町立日司小学校	増川 佳子	神恵内村立神恵内小学校	0135-76-5206
渡島	小笠原英緒	七飯町立大沼小学校	小野寺 徹	森町立濁川小学校	01374-7-3004
檜山	本谷 弘之	厚沢部町立鶉小学校	村田 法史	厚沢部町立館小学校	0139-66-2230
胆振	加藤 久司	伊達市立大滝徳舜瞥学校	山下 文人	豊浦町立礼文華小学校	0142-85-1014
日高	小泉 卓真	新ひだか町立静内小学校	佐藤 裕哉	えりも町立えりも小学校	01466-2-2355
上川	温泉 敏	剣淵町立剣淵小学校	北山 雅章	士別市立上士別小学校	0165-24-2281
留萌	早坂 康	初山別村立初山別小学校	小柳 豊	小平町立鬼鹿小学校	0164-57-1160
宗谷	佐々木 康	稚内市立天北小中学校	塩原 悟	稚内市立増幌小学校	0162-26-2850
オホーツク	小西 政策	雄武町立豊丘小学校	吉本 隆	北見市立若松小学校	0157-22-3661
十勝	高 充慶	新得町立屈足南小学校	水口 一	音更町立南中音更小学校	0155-45-2107
釧路	中村 研自	浜中町立散布小中学校	下山 孝善	標茶町立塘路小中学校	015-487-2140
根室	濱田 有子	根室市立海星小学校	金森 卓哉	別海町立西春別小学校	0153-77-2372

令和元年度 道へき・複連 研究推進委員

道へき・複連研究部長 栗田 真(室蘭市立喜門岱小学校) TEL 0143-55-3850

地区	役・担当	氏名	学校名	電話番号
石狩	学習指導部員	小 玉 智 士	石狩市立浜益小学校	0133-79-3124
空知	学校・学級経営部員	山 下 正 志	美唄市立峰延小学校	0126-67-2229
後志	学校・学級経営部員	中 川 真 人	喜茂別町立鈴川小学校	0136-33-6302
渡島	研究推進委員長	加賀谷 正 明	北斗市立島川小学校	0138-77-8625
檜山	学習指導部員	尾 崎 修 平	せたな町立若松小学校	0137-85-1014
胆振	学校・学級経営部長	前 田 道 弘	白老町立虎杖小学校	0144-87-2009
日高	学習指導部員	加 渡 三 之	えりも町立東洋小学校	01466-3-1358
上川	研究推進副委員長	森 広 明	士別市立多寄小学校	0165-26-2151
留萌	研究推進副委員長	山 口 清 敏	天塩町立啓徳小学校	01632-4-3350
宗谷	学習指導部員	駒 井 崇	枝幸町立音標小学校	0163-66-1073
オホーツク	研究推進副委員長	橋 本 大	北見市立錦水小学校	0152-54-2391
十勝	学習指導部長	谷 口 大 樹	音更町立東士幌小学校	0155-43-2311
釧路	学校・学級経営部員	寺 田 裕 子	弟子屈町立奥春別小学校	015-482-4819
根室	学校・学級経営部員	新 井 真 人	根室市立落石小学校	0153-27-2040